

小学校 国語

必要な事項を取り出し、まとめる

児童質問紙に見られる本県の状況

「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」(兵庫県/全国)(%)

52.9 / 59.4

考えたり表現したりする機会が少ない

課題が見られた問題 < B活用 2 三 > (書くこと: 記述式)

【問題】 (小国 B-11)

「打ち上げ花火の伝統」について調べたことをリーフレットにまとめる時、「まとめ」の内容をどのように書くとよいか。次の条件に合わせて書く。

条件

[編集会議での町田さんと山下さんの意見]を受け、[下書きの一部]の「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師さんの小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の両方から内容を取り上げて書くこと。取り上げた内容について、あなたが考えたことを具体的に書くこと。
書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【要因分析】

- ・問われていることを読み取ることや解答に必要な事項の取り出しができていないのではないかな。
- ・思考・判断したことを記述したり、記述を基に再思考したりすることにつまずいているのではないかな。

【課題】

長文の読解力および目的や意図に応じて、該当する資料に注目した上で、必要となる複数の内容を関係付けながら自分の考えを書くこと。

【解答の状況】(兵庫県/全国)

正答率 17.2 / 17.8 無解答率 20.7 / 20.4

< 誤答例 >

条件である「型物」「色」「音楽」のどれかを書き抜くことができていない。 29.5 / 30.1
該当する資料に注目することができず、必要となる事実を書けていない。 27.7 / 27.2

授業改善の取組

体験的な学習単元を設定する

課題について調べ、調べたことをまとめる単元を設定することが大切である。

単元を計画するにあたっては、「取材 構成 記述 推敲」の学習のプロセスを踏まえるようにする。

反復的に螺旋的に、この学習のプロセスを踏まえることにより、書く力を身に付けさせる。

関連付けて書く

複数の文章を比べたり、関連付けたりして文章を書く経験をさせることが大切である。

まとめて書く

読み取ったり、考えたりしたことを文章にまとめることが大切である。

まとめる力を付けるために、字数制限をつけて書いたり、キーワードを使って書いたりすることが効果的である。

比較する、類別する、置き換える、関連付ける等

例えば...

「働く車図鑑をつくろう」

説明文から読み取ったことをもとにして、自分の好きな車を図鑑にまとめる。

「登場人物ポスターをつくろう」

登場人物の会話や行動から、心情や人柄をとらえて、自分が好きな登場人物のポスターを作成する。

「読書新聞をつくっておすすめの読み物を紹介しよう」

科学的な読み物を読んで得られた「発見や驚き」を新聞にまとめる。

「のひみつブックをつくろう」

説明的な文章を読んで読み取ったことを小冊子にまとめる。